スクラム

～立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信
第17号（６月２４日発行）
文責　校長　髙倉　満

地域懇談会　たくさんの参加　ありがとうございました。

□６月１２日の地域懇談会には約２５０名の参加があり、各地域での懇談会では活発の意見交流ができました。お世話をしていただいた、地域委員の皆様に感謝いたします。

全体会では社会福祉協議会の権藤俊介様に「現在の子ども達を取りまく状況を踏まえて周りの大人にできること」と題して講演をして頂きました。SNSやTVゲームをはじめ、子どもを取りまく環境が大きく変化し、トラブルや、心の動揺、コミュニケーション力や睡眠等々、様々なリスクを抱えていること。だからこそ、大人の理解と関わり、地域の方々の目や支援が必要なこと。大人も関心を持って、子どもと向き合っていくことの大切さを話してくれました。大変参考になる内容だったと思います。今後とも、学校、家庭、地域が協力をして子ども達の成長を見守っていきましょう。

期末テストの反省をしっかりしよう

～「Ｍｙ学力向上プラン」を活かしていくために～

期末テストが終わり、子どもたちには答案が返されている時です。生徒の皆さんはどんな思いで答案をもらっているでしょうか。「一生懸命努力していい点取ったから満足だ。」と思っている人や「全然だめ、あぁー。」と嘆いている人などいろいろいると思います。テストの結果を受けて次にどうしたらいいか。生徒の皆さんに是非実行して欲しいことがあります。それは絶対に「思いつきの感想だけの反省」でなく、「実のある反省」をして欲しいということです。前回の中間テストの結果から、自分の取組を反省して期末テストに臨んだと思います。今回も「Ｍｙ学力向上プラン」の目標は達成できたか。自分の学習への取組を振り返っていきましょう。

＜反省の視点＞

○毎日の授業に真剣に取り組んでいるか

学校生活の中で一番時間が長く、大切にされている活動は「授業」です。テストの結果を反省するときに一番最初に自分の授業態度について、厳しくふり返ってみてください。先生の話をしっかり聞けたか、ノートはしっかり取ったか、指示された活動に真剣に取り組んだか、授業前の予習、授業後の復習ができたか、学級集団としての授業態度はどうだったか、以上の点で反省をして、授業態度の改善を進めてください。

○日常の家庭学習、テストに備えた計画的な学習に取り組んだか

まず、第一に日頃どのような家庭学習をしているかふり返ってください。きちんと毎日決まった時間に予習、復習をしていますか、どんなにきついときでも最低〇〇分と決めてがんばっていますか、まったく家庭学習をしないという日が多くありませんか、テスト前計画をたて、弱点や理解できていないところを重点的に取り組むなどの工夫をしたか、わからないところを友だちや先生に聞いたか、について自分に厳しく反省してみてください。努力の継続が学力向上の道であり、生徒の皆さんの可能性を大きく広げていくことにつながります。

保護者の皆様、期末テストの結果を踏まえ、以上二つの視点で子どもさんと話し合ってください。そしてある時はあたたかく、ある時は厳しく子どもたちへの応援よろしくお願いします。

嬉しいことが・・・

先週、御幸小の防犯パトロールをされてある方から、お電話を頂きました。内容は、下校中の小学校１年生が泣いて、立ち止まり、帰れないところに中学１年生（男子１名、女子３名）が来て声をかけて一緒に帰ってくれたそうです。その優しい行動に嬉しくなりましたという内容でした。本当に元気を頂きました。

セトモノとセトモノがぶつかり合うと

～相田みつを～

セトモノと　セトモノと　ぶつかりっこすると　すぐこわれちゃう
どっちか　やわらかければ　だいじょうぶ
やわらかいこころを　もちましょう　そういうわたしは　いつもセトモノ

最近はあまり見なくなりましたが、贈り物が入っている箱の中には新聞紙が入っていました。その新聞紙が中の物が割れないように守っていました。瀬戸物（せともの）を包んでいた新聞紙は邪魔者になります。しかし、自分はくしゃくしゃになっても誰かをしっかりと包んで、くるんで傷つかないように守ってあげる。これが「やわらかい心」だと思います。とても難しいことだけど、自分がくしゃくしゃになりながら誰かを守る。そんな人になりたいと思うだけでも素敵なことですね。